



親子で参加！ 天三防災イベント

2013年3月17日(日) 11:00~17:00

主催=関西大学STEP

協力=ECCアーティスト専門学校

参加無料・随時受付

(混雑時はお待ちいただくこともあります)

前回の防災イベントに引き続き、ECCアーティスト専門学校の学生や先生たちが特殊メイクのテクニックを利用して、本物と見紛うような切り傷・火傷のメイクを来場者に施してくれます。また、メイクのような傷を負った時に役立つ、手当のミニ講義にご参加いただけます。防災の意識を高めるためにも、ぜひ皆さんそろってご参加ください。

川柳漫画



みんな集まれ！

りそな銀行南森町支店ショーウィンドー前
天神橋筋ローテンションハイテンション!!

南森てんこもり
ライブ!! 第14回

2013年3月30日(土) 15時~19時

商店街の一角が
ライブ会場に
大変身!!

観覧無料

新生 WONDER DRUG / スインギー / 室津敬一郎 /
アーダコーダ / ひえのぼせ / ray · G / チャーミー青木 / &京子



第2回 ガラスおこし 体験教室

2013年3月23日(土)

①10:30~11:30 ②13:00~14:00

③14:30~15:30 ④16:00~17:00

主催=関西大学STEP 協力=アルクヴェール

参加無料(要予約・各回先着10名)

前回好評だったガラスおこし体験教室の第2回目。魔瓶が「ガラスおこし」として、思いがけないアート作品として生まれ変わります。予約・お問合せは関西大学社会的信頼システム創生センター(STEP)まで。
FAX=06-6368-1845 MAIL=step@ml.kandai.jp

03月

関西大学 リサーチ アトリエ 活動 CARD

第2回 「関大・まちの駅」

テーマ:3.11と大学

講師:関大STEP

被災地支援グループ

2013年3月28日(木)

①12:00~13:30 ②14:00~15:30

③16:00~17:30

入場自由・参加無料

関西大学リサーチアトリエ
(楽歳天三・楽市楽座)で行
われる、今月の連携活動を
ご紹介します。

リサーチアトリエでちょっと一息、学問と大学
に触れるきっかけになるように企画された
のが「関大・まちの駅」。第2回は「3.11と大
学」をテーマに、震災について考えます。

※内容は予告なく変更される
ことがあります。最新の詳細
はHPをご覧ください。

[http://www.kansai-u.ac.jp/
rakusai/](http://www.kansai-u.ac.jp/rakusai/)

NEWS
step by STEP

関西大学社会的信頼システム創生センター
KANSAI UNIVERSITY Research Center for
Social Trust and Empowerment Process

中崎町・天神橋筋商店街

「本ぶらマップ」

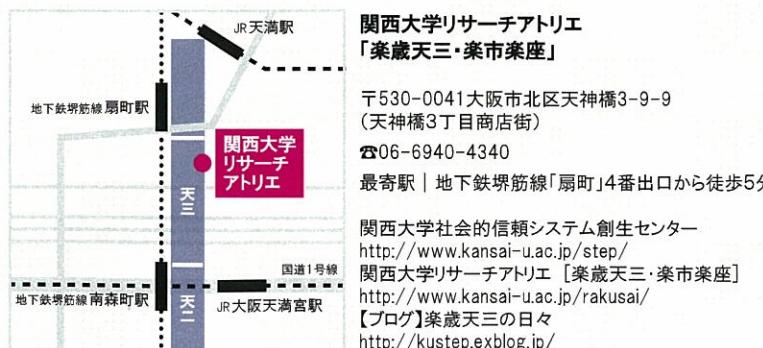
古書を片手にカフェでゆったり。
街歩きのおともにいかがですか?



天神橋筋・中崎町界隈文化マップ 無料配布中

天神橋筋駅近駐輪場マップ 無料配布中

関西大学リサーチアトリエ
最新イベント情報HPにて随時更新中



JR天満駅

地下鉄堺筋線扇町駅

地下鉄堺筋線南森町駅

関西大学
リサーチ
アトリエ

天三

天二

JR大阪天満宮駅

国1号線

元530-0041大阪市北区天神橋3-9-9
(天神橋3丁目商店街)

06-6940-4340

最寄駅 | 地下鉄堺筋線「扇町」4番出口から徒歩5分

関西大学社会的信頼システム創生センター

<http://www.kansai-u.ac.jp/step/>

関西大学リサーチアトリエ [楽歳天三・楽市楽座]

<http://www.kansai-u.ac.jp/rakusai/>

【ブログ】楽歳天三の日々

<http://kustep.exblog.jp/>



3

桃色

ちるちる
春爛漫



03

March

らくさん

Vol. 5

関西大学リサーチアトリエ
新企画
関大・まちの駅

今月の楽市さん

活動CARD

みんな集まれ!
りそな銀行南森町支店
ショーウィンドウ前

牧野圭一先生
川柳漫画

step by STEP NEWS

その先に
続くものがある
というのは
素晴らしい



左 東口千津子さん
学校法人山口学園
学生相談室本部
ECC社会貢献センター代表

中 鈴東裕己さん
ECC社会貢献センター

右 長尾邦光さん
ECC社会貢献センター

私たち学校法人山口学園ECC社会貢献センターでは、地域の様々なニーズに応えるため「学生や教職員の専門性や人間力を活かしていこう」という取り組みをしています。

関西大学リサーチアトリエさんと一緒に開いた「防災イベント」では、特殊メイクコースの学生や教員が有志で参加しています。前回参加した学生は「自分たちが学んでいる技術が外部で活かされ『ありがとう』と言ってもらえた。一般の方の反応を直接感じられる機会というのは、大きな勉強になる」と話していました。この防災イベントでは、関大の学生を中心にして傷の手当てについてのミニ講義がありました。イベントがきっかけで家族と防災について話をした、という声もお聞きしました。「傷メイク、楽しかった」だけではなく、その先に続くものがあるというのは素晴らしいことだと思います。

ECC社会貢献センターは、学生たちが意見を出し合い何年もかけて築いてきたものです。「自分の思いや感じていることを素直に表現し、お互いを聴き合う」「人が集まることで相互作用が生まれ、優れた効果が得られる」、そんな体験を色々な活動を通じて実感してほしいと思います。だから、専門学校の学生と大学生と一緒に地域イベントをするという機会が得られるのは、とてもありがたいことです。それぞれ交流する中で、また新たな活動が生まれてくるといいな、と感じています。



前回、行われた防災イベントの様子。ECCアーティスト専門学校の特殊メイクコースの学生が、来場者一人ひとりに丁寧にメイクを施してくれる。参加した子ども大人も、本物と見紛うメイクに感心していた。

関大・まちの駅

関西大学リサーチアトリエ 新企画

各月 28 日に開催予定
内容、順番など変更になることがあります



「まちの駅」は、国土交通省道路局が全国で推進している「道の駅」のアナロジーとして、天神橋筋商店街連合会会長・土居年樹さんがその実現を提唱している概念です。「道の駅」がドライバーの一休みと憩いの場であるのと同様に、「まちの駅」も街行く人が休憩したり、地域のインフォメーションを利用したり、地域の特産物を手に入れたりできる場所として想定されています。この「まちの駅=人と人、人地域の出会いの場」の最初の実現が、

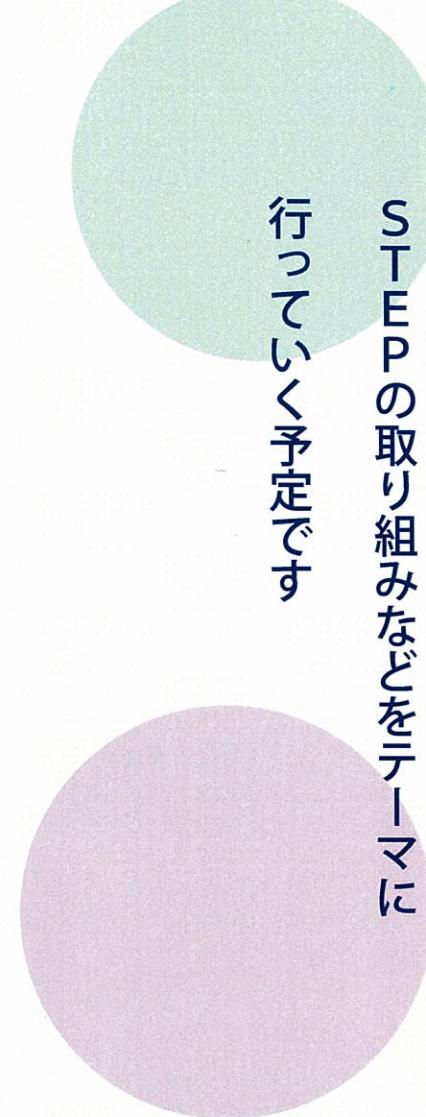
天神橋筋で構想されつつあります。ところで「関大・まちの駅」は、「まちの駅」構想が早く商店街で実現できるよう支援する目的で、先行的な実験として開催するものです。街行く人がホッと一休みでき、お茶などを飲んで地域について談笑する場所として、月に一回以上開催していく予定です。また、大学が実施するものですから、「まちの駅」のコンセプトをお借りしながらも、大学らしく「新しいサイエンスカフェ」の要素を含むものとして設定しています。

私たちが考える「新しい形のサイエンスカフェ」では、「講演者→聞き手」という流れの講演形式をとりません。サイエンスカフェの第一目的を、「施設や大学に親しんでもらう」ことに置き、「大学の研究成果の発信は、それに付随して自然に行われるもの」と位置づけています。短時間でも大学に馴染んでいただくことができればと考え、「関大・まちの駅」としています。

2月に行われた「関大・まちの駅」では、漫画家の牧野圭一先生にお越

しいいただきました。その際にも講演の形式はとらず、タニー・ラウンドテーブルトークとして小さなテーブルを2~3人で囲み、その時のテーマ「漫画とコミュニケーション」についてじっくりとお話しいただきました。3月のテーマは、「3.11と大学」。被災地の現状と、関西大学が展開しているいくつかの取り組みについてご紹介したいと思います。

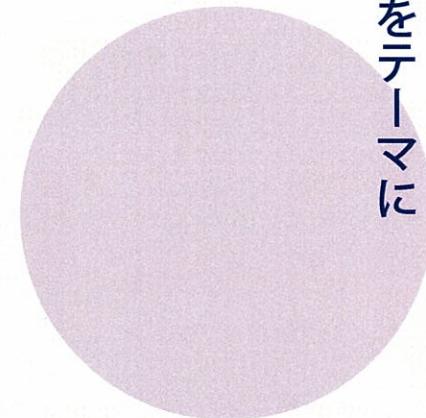
文=与謝野有紀
関西大学 社会的信頼システム創生センター長



行っていく予定です
STEPの取り組みなどをテーマに
「森と川と海の再生に向けて」といった

「準限界集落の活性化

今後、「こども・若者育成支援の試み」、



日本で唯一、商店街の中にある

大学の研究機関です
関西大学リサーチアトリエは

だからこそ、ここでしかできないことがある

開けた研究機関を目指して、

新たな企画が動き出します

